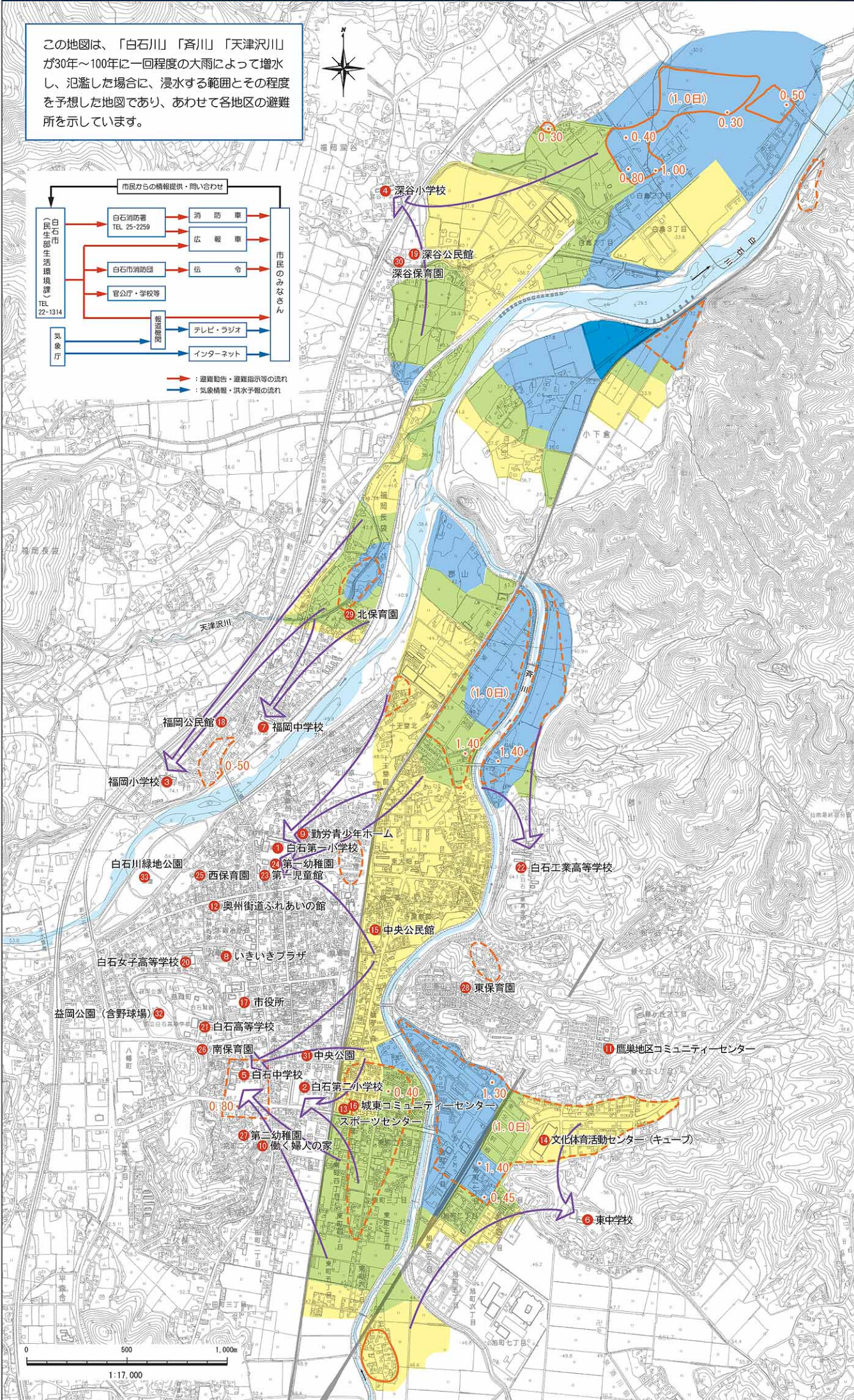
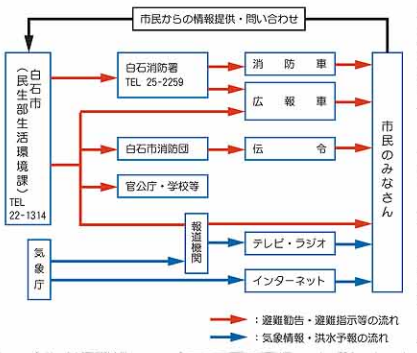


洪水ハザードマップ (水害予測図) =白石市=

浸水想定区域図

この地図は、「白石川」「齊川」「天津沢川」が30年～100年に一回程度の大雨によって増水し、氾濫した場合に、浸水する範囲とその程度を予想した地図であり、あわせて各地区の避難所を示しています。



避難のために普段から心がけよう！

各家庭で非常持出品を常備しておきましょう
非常持出品は普段から準備して、置き場所を家族で確認しておきましょう。

- 非常食品、水（ミネラルウォーター）、医薬品、下着類・靴下・手袋、雨具・防寒具、ラジオ、懐中電灯・ロソク、貴重品、缶きり・ナイフ、ライター・マッチ等
- 乳幼児がいる家庭では ぽ乳びん、粉ミルク、あむつ 等

各家庭で避難所・避難ルートを確認しておきましょう

あなたのお住まいの地域の避難所を確認しておきましょう。避難先は事前に家族と確認しておきましょう。また、避難所への具体的な避難経路を事前に確認しておきましょう。JRの下を通る道路などより低い道路は使えなくなる可能性が高いため、別ルートを探しましょう。

普段から地域ぐるみで、災害時の助け合いについて話し合うことも大切です

強い雨を感じたら…

気象情報に気をつけましょう

気象観測システムの向上等により、台風の進路や勢力は、比較的に予想しやすくなっています。ラジオやテレビ、インターネットなどで正確な気象情報をキャッチしましょう。



事前点検・補修をしましょう

屋根を点検し、早めに屋根瓦のずれや雨どいのつまり、外壁のひび割れ等を補修し、窓・雨戸等を補修しておきましょう。また、庭やベランダにある飛ばされやすいものは室内に入れておきましょう。



避難準備をはじめましょう

気象台が発表する風雨に関する注意報や警報をキャッチしたら、停電に備えて携帯ラジオや懐中電灯を用意しましょう。また、いつでも避難できるように非常持出品・服装・洪水ハザードマップの準備をしましょう。避難指示が発令される前に自主的に高所等へ避難しても構いません。



避難のよびかけを注意して聞きましょう

雨の強さがそれほど強くなくても長い時間降り続けた場合も注意が必要です。市、警察署、消防署等からの情報・よびかけに十分注意しましょう。また、その土地に古くから住んでいる人は、過去の災害情報を持っていることもありますので、その人の話を聞くことも必要です。



避難の仕方について

避難は徒歩で行いましょう

- 裸足・長靴は禁物です。ひもでしめられる運動靴で避難しましょう。
- 水深が腰まである時は、無理せず近くの高所へ避難し、救援を待ちましょう。
- ロープでお互いの体をつなぎ、注意して非難しましょう。
- 水面下に特に注意しながら、長い棒を杖がわりに、安全を確認して避難しましょう。
- お年寄りや病人は背負って避難しましょう。また、幼児は浮き袋、乳児はベビーバス等を利用して避難しましょう。



外にでる前に確認しましょう

- 洪水ハザードマップで、市が指定している避難所を確認しましょう。
- 服装、非常持出品を確認しましょう。
- ガスの元栓、ブレーカーがおりているか確認しましょう。



車での避難はやめましょう

洪水などで浸水している場所では車が水に浸かり動かなくなることがありますので、車での移動は大変危険です。また、車は氾濫した水に流され家屋を破壊したり、道路をふさがり復旧活動の妨げになることがあります。

避難後について

備蓄品は？

- 市では備蓄品として、クラッカー、アルファ米、飲料水が備蓄されています。しかし、量に限りがありますので、非常持出品の中には食品、飲料水を入れておきましょう。
- 医薬品の備蓄は応急のものに限られています。常用されている医薬品は、各自用意して下さい。

避難所での生活は？

- 避難所には寝具や着替え、洗面道具が備蓄されていません（毛布は若干備蓄あり）。避難生活が長引く場合は、後からの支給となります。
- トイレは簡易トイレを使用してもらった場合もあります。
- 避難時当初は十分な物資が支給されない可能性があります。

家族と離ればなれになった、どうしよう？

心配してきている人に無事を伝えたいけど携帯電話がつかない、どうしよう？
171にダイヤルすると、30秒程度のメッセージを残すことができます。災害時に伝えたい人にも、普段から災害伝言ダイヤルのことを覚えておきましょう。

【NTT災害伝言ダイヤル】

- 「171」にダイヤルする
- 利用ガイダンスに従い、伝言の録音・再生を行う

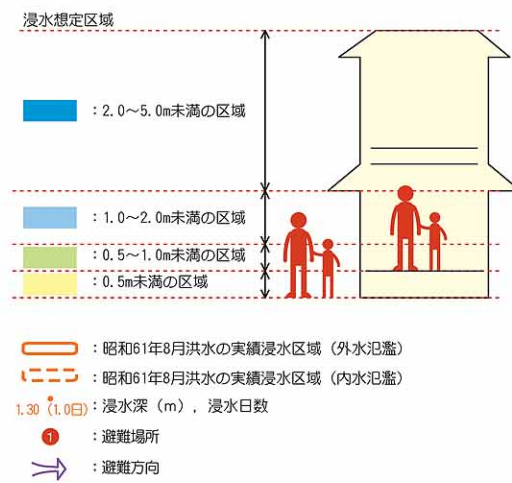
詳しくは、局番なしの「116」が、<http://www.ntt-east.co.jp/voiceml/way/> で確認してください。

あなたのお住まいの地区の避難場所を確認して下さい

1 白石第一小学校	字半沢敷敷前2-2	25-3259	18 福岡公民館	福岡長袋字陣場ヶ丘12-1	25-2249
2 白石第二小学校	字白石沖29	24-2676	19 深谷公民館	福岡深谷字南沖21	24-4540
3 福岡小学校	福岡蔵本字陣場1	25-3359	20 白石女子高等学校	沢端町7-5	25-2181
4 深谷小学校	福岡深谷字松田23	25-3536	21 白石高等学校	益岡町2-7	25-3154
5 白石中学校	南町1丁目2-79	25-3363	22 白石工業高等学校	郡山字鹿野4	25-3240
6 東中学校	大蔵沢三沢字熊野堂6-3	25-5575	23 第一児童館	字百理町37-1	25-7070
7 福岡中学校	福岡長袋字山ノ下25	25-3357	24 第一幼稚園	字百理町38-1	26-2347
8 いきいきプラザ	沢端町4-1	22-1635	25 西保育園	大川町9-32	25-2839
9 勤労青少年ホーム	字延命寺北15-1	25-3720	26 南保育園	南町1丁目7-20	26-2915
10 働く婦人の家	新館町1-21	25-6593	27 第二幼稚園	南町2丁目2-1	25-6326
11 鹿島地区コミュニティセンター	緑が丘18-15	-	28 東保育園	寿山15-8	25-2059
12 奥州街道ふれあいの館	城北町4-6	-	29 北保育園	福岡長袋字岩崎40-8	26-3318
13 スポーツセンター	東町1丁目6-1	25-1536	30 深谷保育園	福岡深谷字南沖26	25-5096
14 文化体育活動センター(キューブ)	鹿島字鳥島50	22-1290	31 中央公園	字本町	-
15 中央公民館	字寺屋敷前25-6	26-2453	32 益岡公園(含野球場)	益岡町	-
16 城東コミュニティセンター	東町1丁目6-2	-	33 白石川緑地公園	字中河原	-
17 市役所	大手町1-1	25-2111			

※ 色は優先避難場所。避難は浸水区域外の最寄りの小中学校へ。他の避難所は小中学校で収容しきれない時に、一時的に収容する補助的な避難所に位置づけられています。
※ 18 19 20 21 22 は浸水区域内にある避難所。背景色は右図の浸水深と同じ。

洪水ハザードマップの見かた



我が家の災害メモ

我が家の避難場所				
家族の集会所				
災害時の緊急連絡先				
名前	生年月日	血液型	既往症(常用薬)	会社・学校の連絡先